

ESGファイナンスを活用し

ESG経営を加速化しています

岡村建興 株式会社

～低炭素コンクリートの製造及びそれを活用した製品の開発～



代表取締役 岡村 清孝 氏



▲SR-PCa製品



▲SR-PCa製品



企業HP

企業概要 業 種：土木業及びプレキャストコンクリート製品製造業
所在地：川崎区綱管通4丁目5番3号 設 立：1947年（昭和22年）
代表者：代表取締役 岡村清孝 従業員：135名
連携金融機関：川崎信用金庫

【融資形態：ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）】

- ・ポジティブ・インパクト・ファイナンスの利用にあたり、事業概要や事業を取り巻く内部・外部環境等を整理したうえで、**企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面にもたらすインパクトを包括的に分析・評価。事業活動から生じるポジティブ／ネガティブインパクトを特定した。**
- ・**特定されたインパクトの悪い影響の緩和と良い影響の拡大について目標を設定し、また目標実現に向けた取組を推進する体制や管理体制も再整理。**これらを取りまとめた「PIF原則適合性評価書」を作成し、日本格付研究所（JCR）より**国内外の各種原則に適合しているとの第三者意見を取得した。**
- ・現在、金融機関の定期モニタリングを受けつつ、金融機関と伴走しながらその実現を目指している。

【活用してみての感想】

ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用した資金調達を行いました。当社では、**二酸化炭素排出量や産業廃棄物を抑制し、環境にやさしい新たな低炭素コンクリートを用いて製造した環境配慮型プレキャスト製品（SR-PCa）の開発を進めています**が、その売上拡大に向けた資金調達です。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの評価書を作成する過程で、これまで実施してきた様々なESGに関連する取組の再整理ができました。当社の事業から、様々なネガティブなインパクトが発生しており、注意しなければいけない項目が判明し、それへの対応策が作れたこと、また、ポジティブなインパクトをいかに大きくさせるかなどについても、**金融機関との対話の中で目標を含め作成することができました。**

現在、目標に定めたことを実行していくにあたり、融資を受けた金融機関に伴走してもらい、いろいろなアドバイスを得ながら進めています。**事業活動を持続可能なものとしていくために、また持続可能な社会づくりに貢献できるよう、取組を進めていきたいと考えています。**

株式会社 協和商会

～太陽光パネルリユース・リサイクル事業～



代表取締役 小川 信彦 氏



▲太陽光パネル解体装置



▲分離されたシート



企業HP

企業概要 業 種：産業廃棄物処理業
所在地：川崎区浅野町6番16号 設 立：1958年（昭和33年）
代表者：代表取締役 小川信彦 従業員：34名
連携金融機関：横浜銀行

【融資形態：グリーンローン】

- ・リサイクル分別装置やフォークリフト、情報分析システム等への設備投資が、**グリーンローン国際原則の対象としての確であると特定され、その上でプロジェクトの実施による環境改善効果を明らかにするとともに、環境面・社会面へのネガティブな影響を特定し、これへの配慮方法（保全措置）を定めた。**
- ・上記に加え、グリーンローンにより充当される資金の管理方法等を定めた融資フレームワークを作成し、格付投資センター（R&I）より国内外の各種原則に適合しているとのセカンドオピニオンを取得した。
- ・グリーンローンにより調達された資金により、太陽光パネル解体装置の設置が完了。現在は、今後増加が予想される廃棄太陽光パネルの受け入れ準備を進めている。

【活用してみての感想】

脱炭素に向けた社会経済環境が大きく変化する中、太陽光発電など再生可能エネルギーが普及する一方で、**今後社会課題となりうる使用済みパネルの大量廃棄に向け、いち早く取り組むことを決意しました。**

具体的には、**使われなくなった太陽光パネルのリサイクル事業**であり、その実施に向けた設備投資資金をグリーンローンにより調達しました。

グリーンローンを利用するには、投資対象の事業が脱炭素に貢献し、社会的にインパクトのある事業であることを第三者機関に評価いただく必要がありますが、**事業の適切性をしっかりと外部の目からも評価いただいたことは、社内外に事業を報告するうえでとても重要で、役立つことであると感じています。**

大きく環境が変わる今だからこそ、**中小企業として何ができるのかを常に考え、率先して実施していくことが重要であると考えています。ESGファイナンスはこのような企業経営を支援するものであると確信しています。**

金融機関 お問い合わせ先

私たちがみなさまのESG経営をサポートします！

りそな銀行 川崎支店融資課（044-222-3512）
 きらぼし銀行 東京きらぼしフィナンシャルグループ 事業戦略部 サステナビリティ推進室（03-6447-5891）
 横浜銀行 川崎支店（044-222-5521）、武蔵小杉支店（044-733-4381）、新百合ヶ丘支店（044-952-0111）
 神奈川銀行 川崎支店（044-244-7538）、中原支店（044-722-9121）
 横浜信用金庫 営業統括部（045-680-6903）
 かながわ信用金庫 業務推進部（046-821-1709：業務推進部直通）
 湘南信用金庫 地域活性課（チーム湘南）（046-825-1463）
 川崎信用金庫 お客さまサポート部（044-220-2456）
 城南信用金庫 融資企画課（03-3493-8125）
 商工組合中央金庫 神奈川営業部（045-201-3952）

ESGファイナンスの発展に向けた金融機関のこれまでの取組 （ESG投融资研究会の開催）

- ・ESGファイナンスを理解し取り組む金融機関が増えることにより、金融機関の支援等を通じた市内企業のESG経営の取組が促進されることを目的として、川崎市では「ESG投融资研究会」を立ち上げ、市内にある金融機関の参画のもと、ESGファイナンスに関する知識の共有等を行ってきました。
- ・研究会では、ESGファイナンスに取り組む上での課題や疑問の解消、実行に際しての実務的な業務の流れなどを相互に学ぶことにより、ESGファイナンスに取り組む金融機関が増加しています。

ESG投融资研究会の様子▶

